

第241回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

< LOBO調査結果 >

— 令和元年12月期 —

〔調査方法〕

会員企業167社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」(※従業員DIについては今期水準)および「向こう3カ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

〔DI値とは〕

DI値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」

【売上】…「増加」-「減少」

【採算】…「好転」-「悪化」

【資金繰り】…「好転」-「悪化」

【仕入単価】…「下落」-「上昇」

【従業員】…「不足」-「過剰」

【資金借入難易感】…「容易」-「困難」

〔調査対象業種〕

建設業 総合工事業、設備工事業、職別工事業

製造業 鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業

卸売業 建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業

小売業 飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業

サービス業 宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

〔調査対象数・回答状況〕

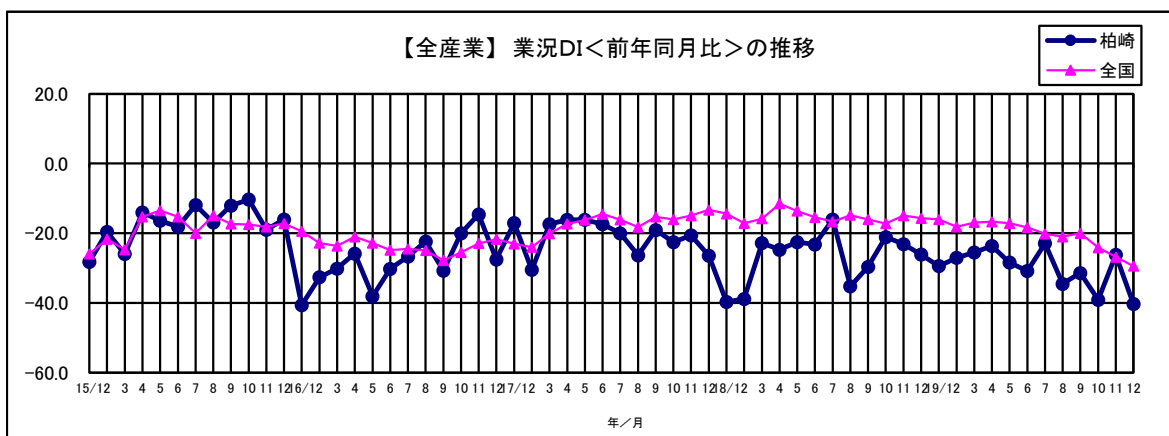
業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	44	24	25	36	168
回答数	28	30	14	13	26	111
回答率(%)	71.8%	68.2%	58.3%	52.0%	72.2%	66.1%



柏崎商工会議所

◆概況(全産業合計)

項目		19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	先行き見通し 1月~3月
業況	柏崎	▲ 22.9	▲ 34.5	▲ 31.4	▲ 39.1	▲ 26.2	▲ 40.3	▲ 46.9
	全国	▲ 20.2	▲ 21.0	▲ 20.0	▲ 24.1	▲ 26.8	▲ 29.4	▲ 27.8
売上	柏崎	▲ 33.9	▲ 41.7	▲ 35.8	▲ 43.5	▲ 27.2	▲ 30.7	▲ 47.1
	全国	▲ 14.8	▲ 13.2	▲ 11.4	▲ 17.4	▲ 22.5	▲ 21.7	▲ 22.8
採算	柏崎	▲ 34.4	▲ 29.9	▲ 39.0	▲ 39.1	▲ 26.2	▲ 30.5	▲ 44.7
	全国	▲ 20.8	▲ 18.9	▲ 17.5	▲ 21.8	▲ 25.1	▲ 23.3	▲ 25.0
資金繰り	柏崎	▲ 15.2	▲ 12.0	▲ 16.8	▲ 13.0	▲ 17.5	▲ 11.2	▲ 21.7
	全国	▲ 11.2	▲ 11.3	▲ 10.9	▲ 12.1	▲ 13.6	▲ 13.6	▲ 14.6
仕入単価	柏崎	▲ 39.2	▲ 36.6	▲ 38.3	▲ 33.9	▲ 38.8	▲ 41.8	▲ 41.1
	全国	▲ 38.1	▲ 35.7	▲ 37.3	▲ 41.3	▲ 39.3	▲ 36.2	▲ 31.3
従業員	柏崎	21.6	18.8	19.4	20.9	18.5	14.8	12.5
	全国							23.8
資金借入難易感	柏崎	3.7	1.2	0.0	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 0.4	▲ 1.7

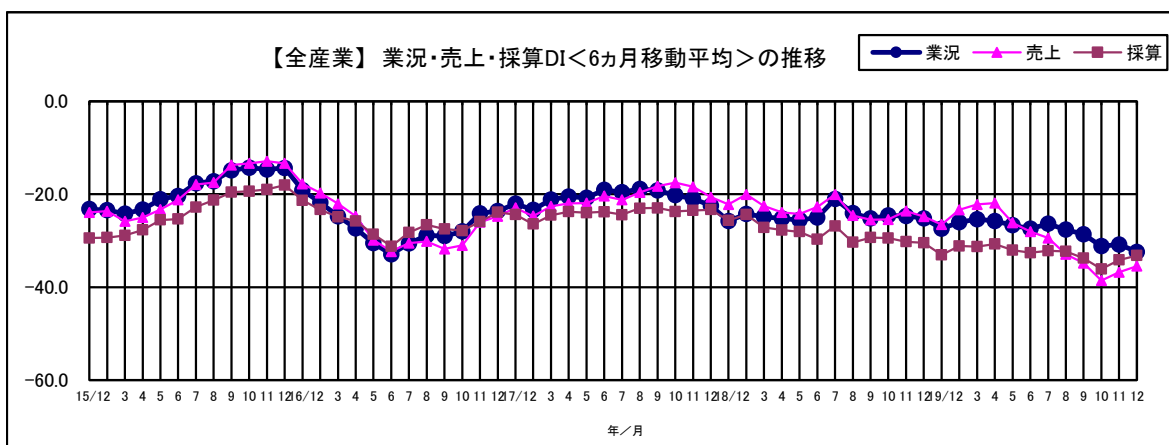


業況DIは▲40.3となり、前月期から14.1ポイントマイナス幅が拡大した。先行き見通しを見ると業況・売上・採算DIにおいて更に下降することが予想される。移動平均分析のトレンドをみると、売上・採算DIは若干上昇しているものの業況DIは下降している。

<移動平均分析(全産業)>

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

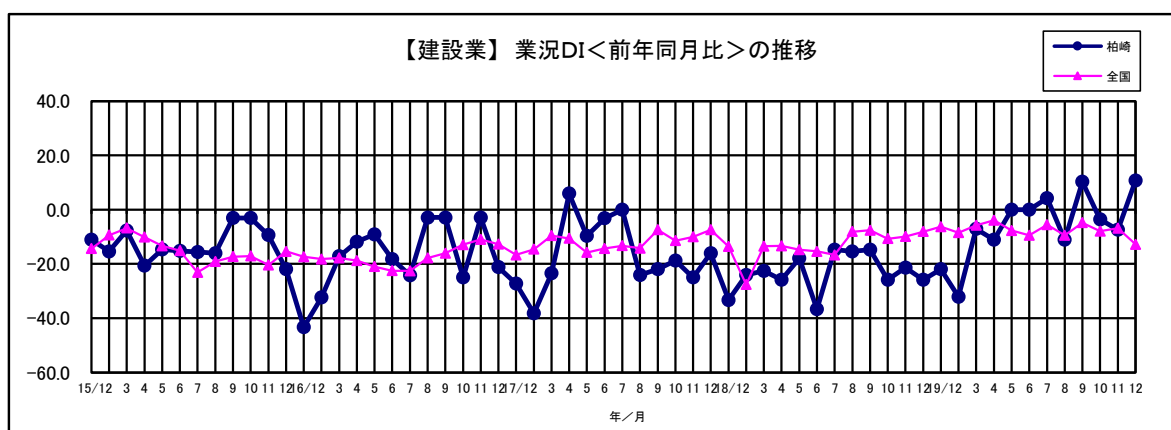
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6か月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

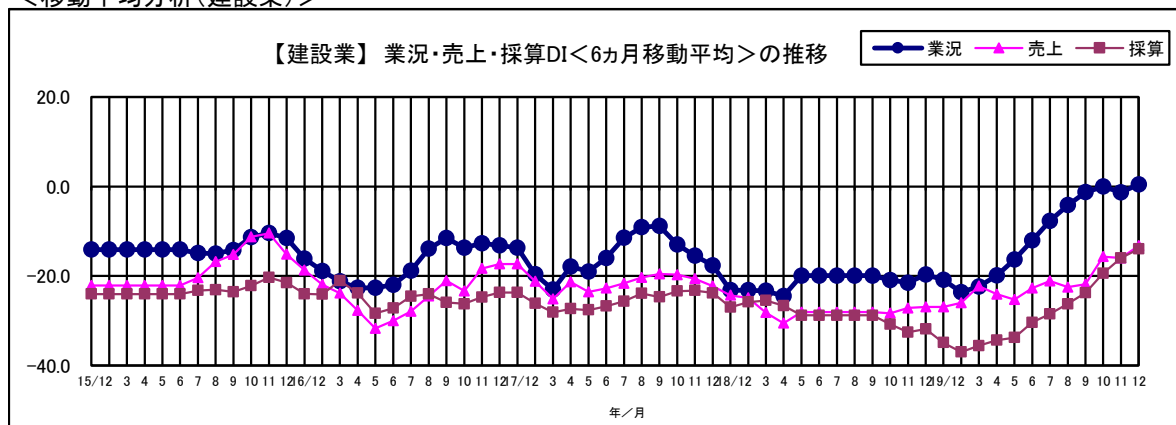
【建設業】

項目		19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	先行き見通し 1月～3月
業況	柏崎	4.2	▲ 11.1	10.3	▲ 3.6	▲ 7.4	10.7	▲ 14.3
	全国	▲ 5.6	▲ 9.5	▲ 4.8	▲ 7.9	▲ 6.9	▲ 12.8	▲ 18.3
売上	柏崎	▲ 12.5	▲ 29.6	▲ 3.4	▲ 3.6	▲ 26.9	▲ 3.6	▲ 25.0
	全国	▲ 4.6	▲ 4.6	▲ 1.0	▲ 2.4	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 12.5
採算	柏崎	▲ 29.2	▲ 22.2	▲ 13.8	▲ 7.1	▲ 11.5	0.0	▲ 21.4
	全国	▲ 15.5	▲ 11.8	▲ 9.9	▲ 11.8	▲ 9.6	▲ 9.2	▲ 20.8
資金繰り	柏崎	▲ 8.3	▲ 25.9	▲ 6.9	3.6	▲ 3.8	▲ 7.1	▲ 10.7
	全国	▲ 4.6	▲ 3.3	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 4.2	▲ 4.6	▲ 13.5
仕入単価	柏崎	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 31.0	▲ 32.1	▲ 34.6	▲ 28.6	▲ 25.0
	全国	▲ 45.4	▲ 46.4	▲ 43.7	▲ 48.5	▲ 44.6	▲ 43.4	▲ 36.1
従業員	柏崎	41.7	33.3	48.3	53.6	57.7	32.1	32.1
	全国							38.5
資金借入難易感	柏崎	0.0	▲ 7.4	3.4	10.7	0.0	0.0	0.0



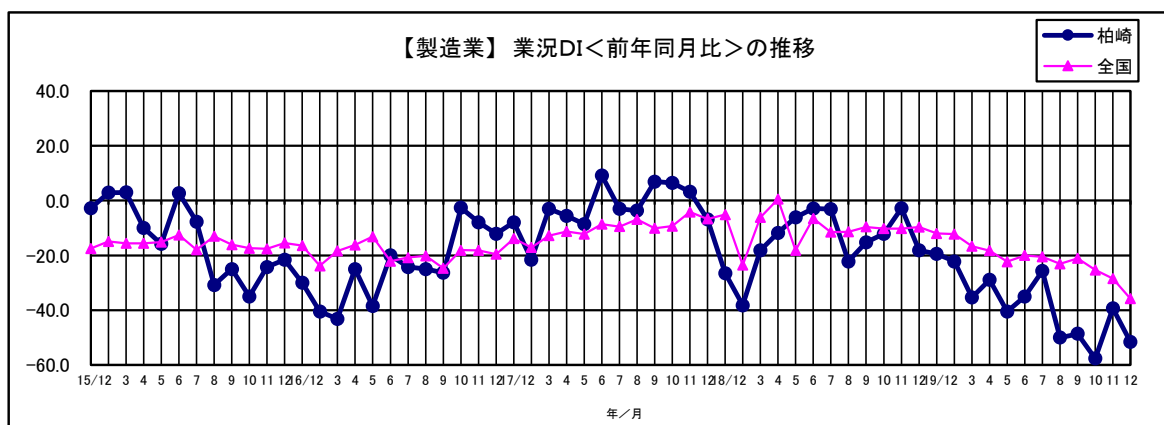
業況DIは10.7となり、3か月ぶりにプラスに転じた。総合工事業および設備工事業において前年同期より「改善」したとの回答が見られたことが要因である。前月停滞した移動平均分析のトレンドも再び上向き傾向へと推移した。

<移動平均分析(建設業)>



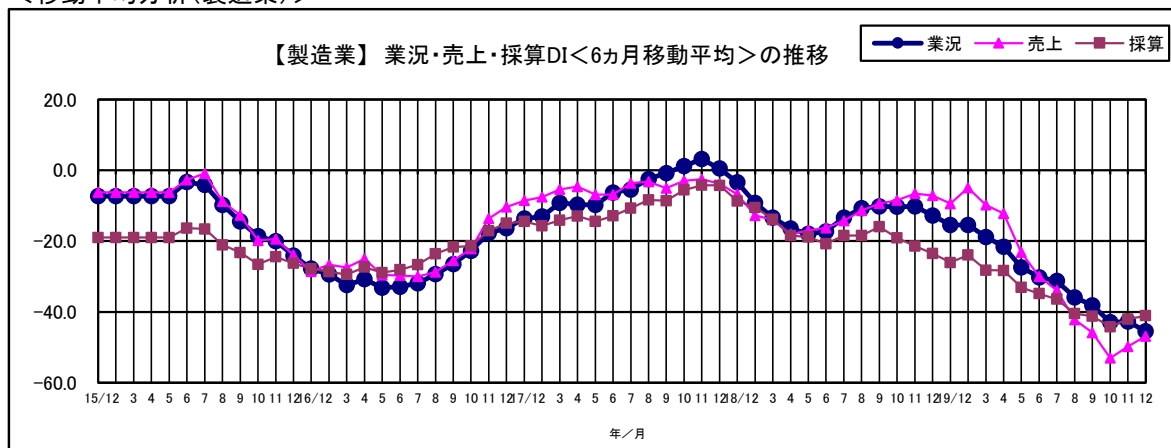
【製造業】

項目		19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	先行き見通し 1月～3月
業況	柏崎	▲ 25.7	▲ 50.0	▲ 48.6	▲ 57.6	▲ 39.3	▲ 51.6	▲ 41.9
	全国	▲ 20.5	▲ 23.1	▲ 21.1	▲ 25.3	▲ 28.5	▲ 35.8	▲ 31.1
売上	柏崎	▲ 37.1	▲ 52.9	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 32.1	▲ 32.3	▲ 45.2
	全国	▲ 14.5	▲ 10.6	▲ 12.2	▲ 16.7	▲ 24.0	▲ 27.7	▲ 26.7
採算	柏崎	▲ 37.1	▲ 41.2	▲ 45.7	▲ 54.5	▲ 35.7	▲ 32.3	▲ 41.9
	全国	▲ 22.3	▲ 18.5	▲ 18.3	▲ 18.5	▲ 25.3	▲ 27.7	▲ 27.7
資金繰り	柏崎	▲ 17.1	▲ 11.8	▲ 22.9	▲ 18.2	▲ 14.3	▲ 6.5	▲ 16.1
	全国	▲ 9.7	▲ 8.8	▲ 7.7	▲ 9.8	▲ 12.3	▲ 13.1	▲ 13.9
仕入単価	柏崎	▲ 40.0	▲ 38.2	▲ 40.0	▲ 30.3	▲ 25.0	▲ 35.5	▲ 32.3
	全国	▲ 42.4	▲ 40.2	▲ 37.6	▲ 40.6	▲ 35.7	▲ 37.4	▲ 27.3
従業員	柏崎	5.7	0.0	▲ 2.9	▲ 6.1	▲ 10.7	▲ 9.7	▲ 6.5
	全国							9.3
資金借入難易感	柏崎	20.0	11.8	11.4	6.1	7.1	3.2	0.0



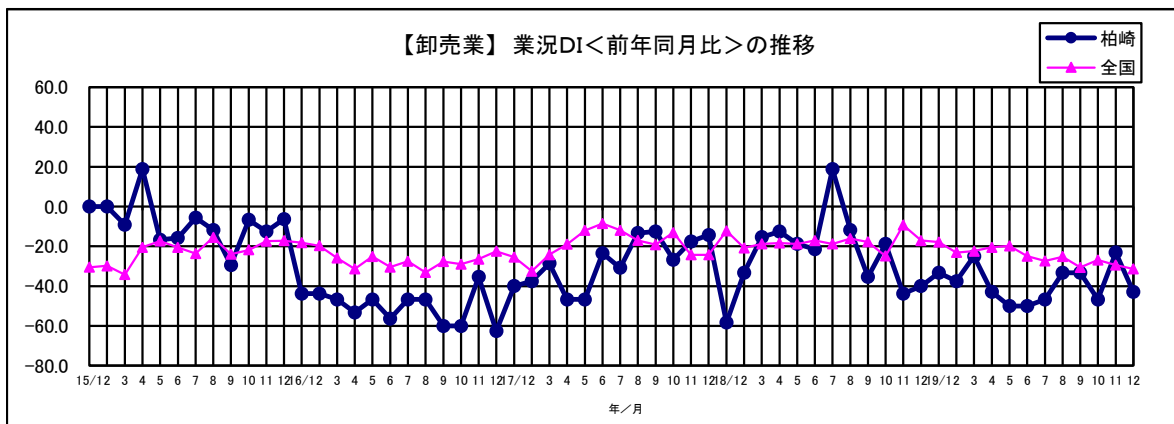
業況DIは▲51.6となり、マイナス幅が12.3ポイント拡大した。全国の業況DIも下降してきており、米中貿易摩擦や中国経済の減速が主な要因として考えられる。移動平均分析のトレンドも業況DIにおいて、前月若干の上向きを見せたものの、再び下降傾向に推移した。

<移動平均分析(製造業)>



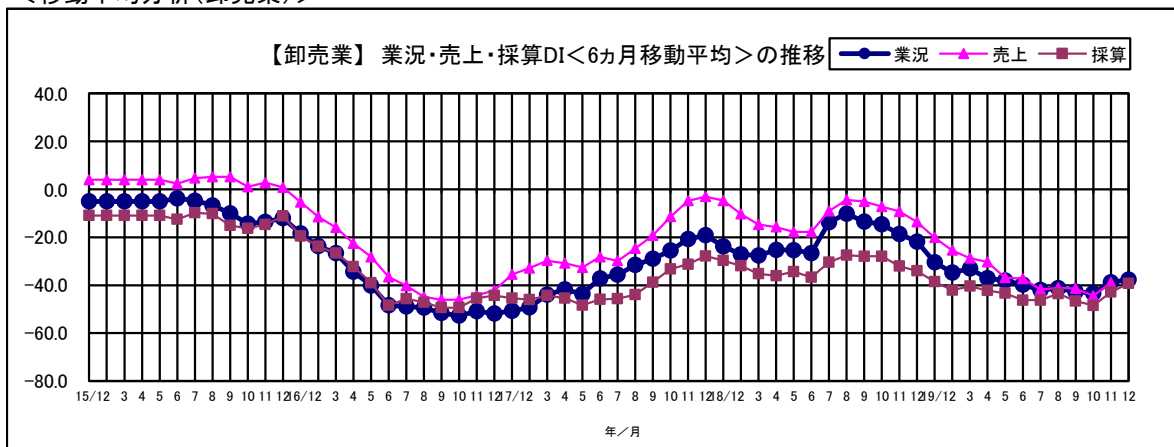
【卸売業】

項目		19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	先行き見通し 1月~3月
業況	柏崎	▲ 46.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 46.7	▲ 23.1	▲ 42.9	▲ 35.7
	全国	▲ 27.4	▲ 25.2	▲ 30.6	▲ 26.9	▲ 29.4	▲ 31.4	▲ 27.3
売上	柏崎	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 46.7	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 35.7
	全国	▲ 21.1	▲ 15.9	▲ 18.8	▲ 18.1	▲ 22.3	▲ 26.4	▲ 19.4
採算	柏崎	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 23.1	▲ 35.7	▲ 50.0
	全国	▲ 25.1	▲ 19.5	▲ 22.7	▲ 21.6	▲ 23.1	▲ 26.0	▲ 20.2
資金繰り	柏崎	▲ 20.0	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 13.3	▲ 23.1	0.0	▲ 7.7
	全国	▲ 13.9	▲ 13.7	▲ 12.2	▲ 12.3	▲ 23.1	▲ 12.0	▲ 10.3
仕入単価	柏崎	▲ 26.7	▲ 26.7	▲ 8.3	▲ 20.0	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 42.9
	全国	▲ 34.9	▲ 33.6	▲ 36.7	▲ 33.0	▲ 53.8	▲ 34.7	▲ 32.2
従業員	柏崎	40.0	33.3	41.7	▲ 40.0	46.2	35.7	42.9
	全国							20.2
資金借入難易感	柏崎	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 7.7	0.0	7.1



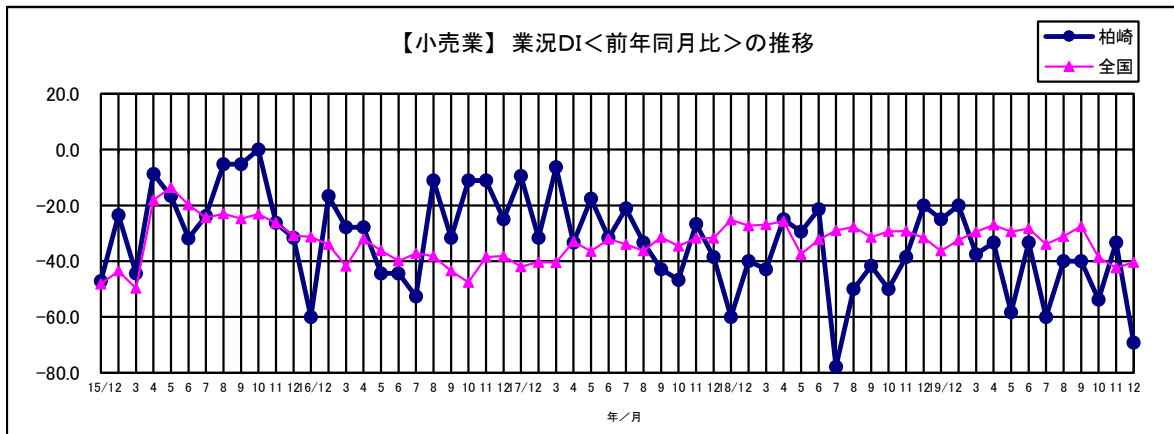
業況DIは▲42.9となり、前月期から19.8ポイントのマイナス幅拡大となった。建材・鉱物卸売業で7割の企業が「悪化・減少」と回答したことが要因である。先行き見通しを見ると業況・採算DIにおいて若干「改善」する予想となっている。移動平均分析のトレンドを見るとほぼ横ばいで推移している。

<移動平均分析(卸売業)>



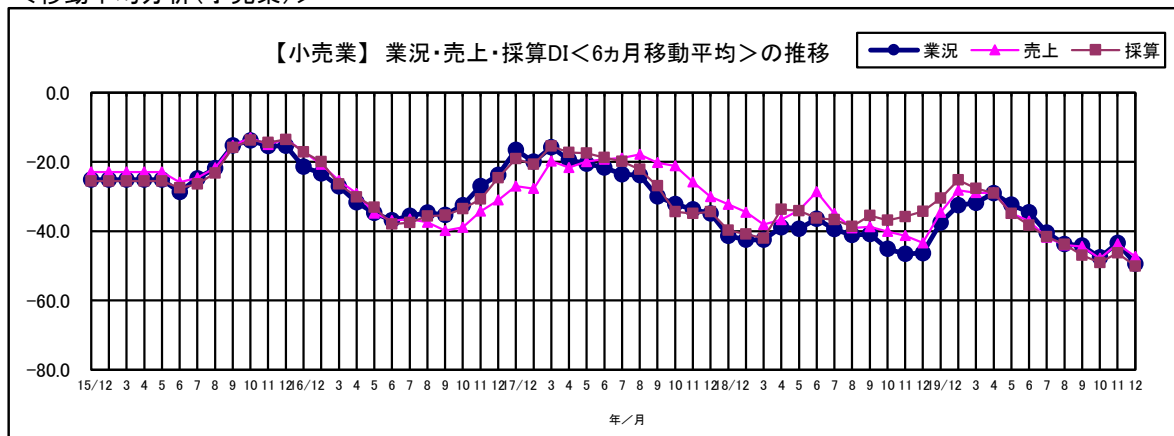
【小売業】

項目		19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	先行き見通し 1月~3月
業況	柏崎	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 53.8	▲ 33.3	▲ 69.2	▲ 69.2
	全国	▲ 33.9	▲ 31.1	▲ 27.5	▲ 38.6	▲ 42.4	▲ 40.4	▲ 37.1
売上	柏崎	▲ 53.3	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 61.5	▲ 61.5
	全国	▲ 30.5	▲ 26.9	▲ 16.7	▲ 35.8	▲ 41.9	▲ 35.0	▲ 34.3
採算	柏崎	▲ 53.3	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 46.2	▲ 41.7	▲ 69.2	▲ 61.5
	全国	▲ 28.6	▲ 29.9	▲ 23.9	▲ 37.5	▲ 37.7	▲ 31.7	▲ 31.2
資金繰り	柏崎	▲ 26.7	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 38.5	▲ 46.2
	全国	▲ 17.8	▲ 18.2	▲ 18.8	▲ 19.7	▲ 21.5	▲ 21.1	▲ 20.2
仕入単価	柏崎	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 61.5	▲ 53.8
	全国	▲ 34.9	▲ 30.3	▲ 34.7	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 31.2	▲ 31.2
従業員	柏崎	▲ 13.3	0.0	0.0	0.0	▲ 8.3	0.0	0.0
	全国							23.7
資金借入難易感	柏崎	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 20.0	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.7	▲ 7.7



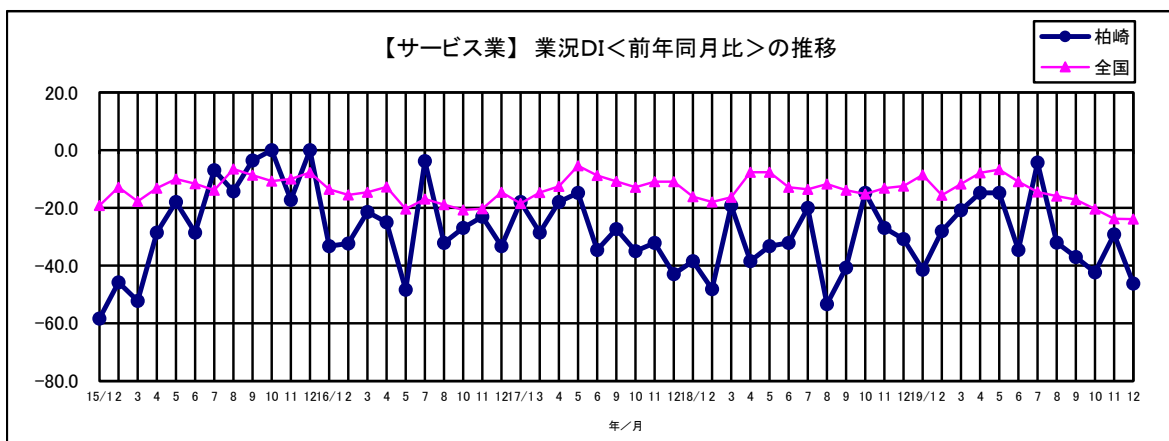
業況DIは▲69.2となり、前月期から35.9ポイントもマイナス幅が拡大した。業況・売上・採算・資金繰りDIにおいて「好転・増加」の回答が全く見られず、非常に厳しい状況がうかがえる。前月上向きに推移した移動平均分析のトレンドは再び下降傾向となっている。先行き見通しは今月期とほぼ同じDI値が予想されており、移動平均分析のトレンドは更に下降することが予想される。

<移動平均分析(小売業)>



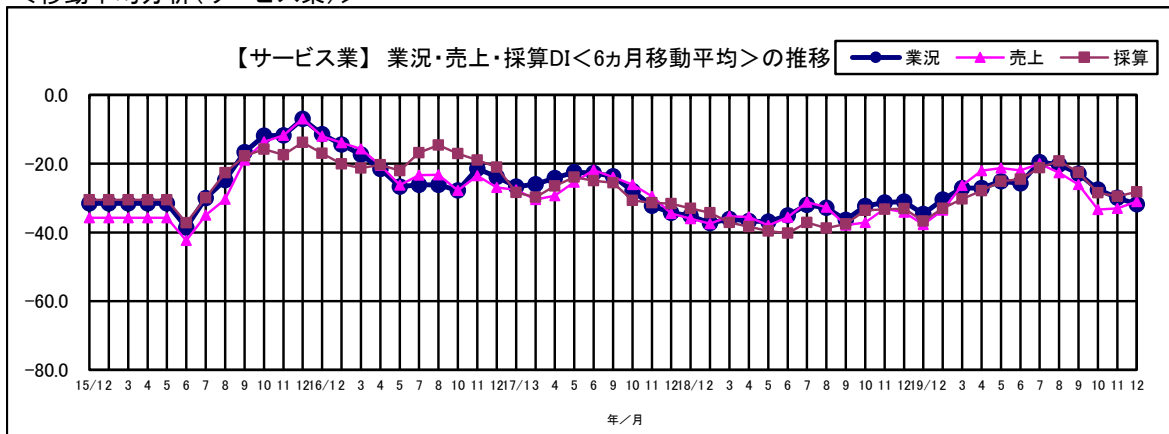
【サービス業】

項目		19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	先行き見通し 1月~3月
業況	柏崎	▲ 4.3	▲ 32.0	▲ 37.0	▲ 42.3	▲ 29.2	▲ 46.2	▲ 61.5
	全国	▲ 14.5	▲ 15.9	▲ 17.1	▲ 20.4	▲ 23.8	▲ 23.9	▲ 23.1
売上	柏崎	▲ 26.1	▲ 44.0	▲ 33.3	▲ 43.5	▲ 12.5	▲ 26.9	▲ 57.7
	全国	▲ 5.5	▲ 8.6	▲ 9.2	▲ 12.5	▲ 18.9	▲ 16.0	▲ 17.6
採算	柏崎	▲ 21.7	▲ 16.0	▲ 40.7	▲ 39.1	▲ 25.0	▲ 26.9	▲ 50.0
	全国	▲ 14.3	▲ 14.5	▲ 13.7	▲ 18.9	▲ 25.5	▲ 19.7	▲ 21.9
資金繰り	柏崎	▲ 8.7	0.0	▲ 18.5	▲ 13.0	▲ 25.0	▲ 3.8	▲ 23.1
	全国	▲ 10.0	▲ 12.2	▲ 10.2	▲ 12.7	▲ 15.6	▲ 14.5	▲ 13.4
仕入単価	柏崎	▲ 43.5	▲ 48.0	▲ 48.1	▲ 33.9	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 50.0
	全国	▲ 35.1	▲ 30.3	▲ 34.7	▲ 42.0	▲ 37.4	▲ 35.3	▲ 31.9
従業員	柏崎	21.7	40.0	40.7	20.9	20.8	23.1	11.5
	全国							31.3
資金借入難易感	柏崎	4.3	4.0	0.0	▲ 0.9	0.0	0.0	▲ 3.8



業況DIは▲46.2となり、17.0ポイントマイナス幅が拡大した。12月は忘年会シーズンであったものの、5割の企業が「悪化」と回答したことにより、このような結果となった。先行き見通しを見ると、業況・売上・採算DIにおいてマイナス幅の更なる拡大が予想されている。移動平均分析のトレンドを見ると売上・採算DIでは上向きとなっているものの、業況DIは下降傾向となっている。

<移動平均分析(サービス業)>



◇12月期調査に寄せられたコメント(自社の動向、経営上の課題など)

<建設業>

・創業以来続いた借金操業だったが、3月末には借入金0にできそう。

<製造業>

・夏頃(オリンピック)まで仕事が少ないが、その後好転する見通し。
・海外への転注や客先の内製化など暗い話題が多い。

<サービス業>

・消費税増税と同時に個人のお客が低調になり、特に12月の売上額は増税分込みで15%の減少。昨年の7月から11月までは好調で、あまり休みも取れなかったが、慢性的な人手不足を考えると不安が残る。

◇【日本商工会議所LOBO調査による12月期の業況】

【建設業】

都市部の再開発を中心とした民事工事は底堅く推移するものの、人件費・外注費の増大や受注機会の損失など、技術者を始めとした深刻な人手不足の影響に加え、消費税率引上げ後の受注が低迷しているとの声も聞かれ、悪化。

【製造業】

貿易摩擦や中国経済の減速、世界経済の先行き不透明感の反響に伴い、工作機械や産業用機械、自動車関連を中心に不振が続いており、悪化。一方、半導体市況の底打ち感を指摘する声も聞かれた。

【卸売業】

人件費や物流費の増加が収益を圧迫しているほか、不振が続く製造業からの原材料や部品などの受注減に加え、個人消費の低迷により飲食料関連の売上が伸び悩み、悪化。

【小売業】

食料品や日用品を中心に消費税引上げに伴う消費者の節約志向の強まりを指摘する声は根強いものの、クリスマス・年末商戦に向けたイベントやセールスの開催により売上が持ち直したとの声もあり、改善。

【サービス業】

インバウンド需要が下支えする一方、深刻な人手不足の影響に加え、消費税引上げに伴う消費者の節約志向の強まりにより売上が伸び悩んだ飲食・宿泊業や、製造業関連の受注が減少した運送業が全体を押し下げ、ほぼ横ばい。

◇【専用住宅及び併用住宅の市内・市外施行業者別確認件数】

		市内施工業者	市外施工業者	計
12月	新築	6	6	12 (件)
	増築		2	2
	改築			
	移転			
	用途変更			
	計	6	8	14
前月までの累計	新築	53	97	150
	増築	12	1	13
	改築	7	6	13
	移転			
	用途変更			
	計	72	104	176
合計		78	112	190

(資料: 柏崎市 建築住宅課)